

## 正誤表 (2018. 5. 28)

p. 2 註 2

(誤) Vgl. F. Kluge, *Etymologisches Wörterbuch der deutschen Sprache...*

→ (正) Vgl. F. Kluge, *Etymologisches Wörterbuch der deutschen Sprache...*

p.10 註 11

(誤) Quante(2007)は…… → (正) Quante(2011)は……

p.38 註 15

(誤) 竹島 (2005) 参照。 → (正) 本書第 2 章参照。

p.40, 註 40

(誤) 竹島 (2005) 参照。 → (正) 本書第 2 章、特に 2.2.2 参照。

p.44, l.17

(誤) ここでは〈人倫なき和解〉が…… → (正) ここでは〈承認なき和解〉が……

p.51, 註 49

(誤) ただし『人倫の体系』一箇所…… → (正) ただし『人倫の体系』の中で一箇所……

p.53, l.17

(誤) 排除・非排除の不平等な関係…… → (正) 排除・被排除の不平等な関係……

p.81, l.25

(誤) ものを自らのものとする共に…… → (正) ものを自らのものとするとともに……

p.85, l.6

(誤) それは主・奴論末尾に置いて…… → (正) それは主・奴論末尾において……

p.96, l.11

(誤) 両方の自我のただなかに *mitte*…… → (正) 両方の自我のただなかに *mitten*……

p.100, l.11

(誤) 「ただなかに *mitte* 現れてくる神」 → (正) 「ただなかに *mitten* 現れてくる神」

p.102, l.23

(誤) ……とするからである。 → (正) ……とするからである。

p.110, l.9

(誤) 既定性の中で人間は…… → (正) 規定性の中で人間は……

p.132, l.22

(誤) この点を抑えておくことが…… → (正) この点を押さえておくことが……

p.189, l.21

(誤) Briefe von und an Hegel. → (正) *Briefe von und an Hegel.*

p.190, l.24 に挿入

Kojève, A. (1947): *Introduction à la lecture de Hegel. Leçons sur la Phénoménologie de l'esprit professées de 1933 à 1939 à l'École des Hautes Études*, Paris: Gallimard.

邦訳『ヘーゲル読解入門』国文社、上妻精・今野雅方訳、1987年。

p.190, l.22

井上達夫(2004): リベラリズムの再定義、『思想』965号、岩波書店、2004年9月。

→p.190, l.21 に移動

p.192, l.19 に挿入

——(2015): ただ愛の中でのみひとは客体と一つになる——初期ヘーゲル思想とヘルダーリン・1

——、岡山大学文学部紀要、第63号、2015年7月。